



第 58 号

2026 年 2 月

発行者：NPO 法人 介護の家コスモス男山

〒614-8372 八幡市男山笹谷 4-2 D19-106

TEL：075-983-2737 FAX：075-983-2746

e-mail：kosumosuot@gol.com

ホームページ検索用語 ⇒ 「コスモス男山」

<https://kosumosuot.sakura.ne.jp/hp/>

「安心して老いることができる社会」を手に入れるために

たふれたる けものの骨の朽ちたる庭も

呼吸^{いき}づまるばかり 花散りつづく 斎藤 史



人もまた、衰え、死んでいきます。そして人は、少なくとも生まれた後と亡くなる前後は、ケアを必要とします。人が人として大切にされる社会とは、このケアが、当然のこととしてどんな人にも保障されている社会だと思っています。

2000 年に施行された介護保険制度は、社会全体で「安心して老いる社会」の実現を目指すもので、介護が必要になった人は、必要な費用の 1 割(今は所得に応じて 2 割、3 割の人)を負担すれば介護保険を利用でき、その残りを、税金と 40 歳以上の国民から徴収する介護保険料で半分ずつ担うことになっています。

高齢者のケアを、私的な責任ではなく社会の責任だと位置づけたこの制度は、家族、特に嫁・娘などの女性に強いてきたケア役割を解き、介護離職を減じた意味でも画期的だったと思います。介護の社会化を目指したことは、介護が必要な人だけでなく介護者にとっても、大きな第一歩だったのです。

しかし、3年ごとの制度見直しで、介護保険は後退し、利用者負担が増える一方です。今は①利用者負担を基本2割に、②要介護1・2の訪問・通所介護を介護保険から外して総合事業に、③ケアプランを有料化し、④福祉用具の一部をレンタルではなく買い取りに、などの案が検討俎上にのぼっています。

これらが現実になると、介護保険料は支払っているにもかかわらず、利用料が払えないために介護が受けられない「介護難民」が増えることは、想像に難くありません。

そもそも、施行以来、介護保険はずっと黒字で、黒字分は介護給付費準備基金としてプールされているのです。なぜこんなことがおこるのか、私たちは注視し、この動きを止めなければ、と思います。

(理事 萬田久美子)

コスモス アラカルト

紅葉がり



さわやかな秋空に誘われ、いつもより足を延ばし紅葉がりへ。葉が色づきとても美しく「ここで写真を1枚」と言ったら車椅子のおふたりはピースポーズ♪別の場所でまた1枚と言ったら今度は手をつないで。皆さんとても楽しそうでした😊（介護 汐池）

たこ焼き風ホットケーキ作り

皆で楽しめる時間にしようと挑戦！私が焼くと全然丸くまとまりません。見かねた C 木さんが「貸してごらん」と千枚通しを取って作り始め、トントントンとひっくり返すとまん丸に。さすが C 木さん！

トッピングにはチョコもレーズンも用意したけど「ソースがいい」「醤油がいい！」。ホットケーキ作りがすっかりたこ焼き大会に。

トホホ～💧

でも皆で楽しめて良かった。今度は何に挑戦しようかな？

（看護師 裕口）



祝・迎春
グッス完成！



ガチャケースが馬に变身！

コスモスでは年末になると、新年を迎える飾り作り（干支の置物と羽子板）が始まります。まず職員がデザインとパーツ作りをしますが、デザインを決めるのが一苦労です。

パーツまで作ったら、あとは利用者さんが自分用にパーツを貼っていきます。羽子板は牛乳パック、置物はガチャガチャの空きケースが土台。工夫が光ります💡

みんなで力を合わせて、新年を迎える準備ができました！



躍動感あふれる羽子板



窓の貼り絵もお正月用



昨年未、突然亡くなられた利用者さんがいらっしゃるやいました。職員が弔問した際のご家族とのエピソードをひとつ…

『それまで(コスモス利用までは、人との関りがあまりなかった。利用の最初はケアマネさん一人の名前しか話に出てこなかったけど、そのうち一人ずつ増えていって、関りが広がっているのだなあと感じました。』

敬老の日に保育園児さんたちがお祝いに来てくださった時や、紅葉がりの写真をお渡しすると『こんな笑顔が見れてよかった。施設も考えていたけど、コスモスさんで良かったです。』

その方は、職員が迎えに行くのを玄関前の階段でいつも待つてくれていました。危ないから家の中で待つていてとお話したり玄関扉の内側に貼り出したりしても、ここ(階段)も敷地内だからと、待つてくれていました。

『それだけ、楽しみにしていたのですね』

とてもユーモアがあつてチャームキングな方でした。ご冥福をお祈りいたします。

お風呂 ♪ 改装完了

コスモス男山が2007年3月に開設してから18年。木の香りやぬくもりを感じていただきたくて浴室の腰板にひのきを使っていましたが、いたみが激しくなっていました。そこで10月、ついに浴室全体をリフォームしました。

リフォームするにあたっては、職員全員で改善できる点を考え、たくさんの意見を出し合いました。工事の間は各ご家庭でお風呂に入っていたり、コスモスで清拭対応させていただいたり、利用者さんやご家族の方々にご協力いただきました。どうもありがとうございました。

完成した新しいお風呂に入っていると、利用者さんからは「きれいになった」「明るくなった」「手すりがあるところが安心だな」という声が聞かれました。

これからも、改装した♪ほかほかお風呂♪で温まってください。(所長 武元)



「人のさいご」

『人のさいご』は、「看護・介護・医療ケアを通じて、私たち一人ひとりのさいごがよいものになるように」という思いをもって制作された本です。私たちはその思いに共鳴し、10月4日に発行元である医療法人社団プラタナス桜新町アーバンクリニックの方々にワークショップを開催していただきました。

第1部では民生委員さんやオレンジカフェの皆さんも含めて24名の方が参加してくださいました。引き続いての第2部では、コスモス男山の職員14名が参加しました。どの部でも、在宅医療のよくある事例についてお話をうかがい、『人のさいご』の朗読を聞き、感想を伝え合いました。

～新しい学びがあった部分～

- ・「家族」ってだれのこと？
- ・いのちを閉じていく自然な経過
- ・息づかいが変わっていく
- ・お別れのとき
- ・いのちを閉じるとき など



<<アンケートより抜粋>>



～本の内容を、どのように活用できると思いますか～

- ・子どもや孫にも読ませたい。生きている今を精一杯生ききるために。
- ・自分のこれからの過ごし方に大いに活用できると感じています。
- ・あらためて「人のさいご」をふり返ることができました。いずれ自分も迎えるであろう時にきっとまたこの本を思い出し、穏やかなさいごを迎えられると信じています。
- ・大切な人とどのように過ごすのか、知識と経験を重ねていきたい。 など

シリーズ 認知症と私⑥

今回も、利用者さんに日々向き合っておられるご家族に、寄稿いただきました。

音楽は私にとって最高のサプリメント!!

先日義兄から、とあるメールが入ったので、私の余っているオーディオ装置一式を車に積んで設置してきた。

昭和歌謡曲のギター演奏等のCDを聴いて涙を流し、それまでふさぎ込んでた義兄は元気になった。そのことを知った義兄の長女からLINEが入った。「音楽ってすごい力ですね!」と。

老々介護で、皆さん「大変だね」「よくやってあげているね」と言ってくくださるが、私には音楽という『最高のサプリメント』がある。だから妻にも優しくできる、そして楽しく介護ができていたのである。

M・K

M・Kさんは、コスモス男山にも素晴らしい音楽鑑賞用装置を寄贈くださいました。本当に有り難うございました。



きらっと☆クリスマス会

12月23日、きらっと☆シニア倶楽部でクリスマス会を開きました。コスモス男山からも、お元気な利用者さん3人が参加されました！



この日のために練習したハンドベルで「きらきら星」と「赤鼻のトナカイ」2曲をみんなで演奏し、ばっちり決まり！次は『ウクレレコスモスバンド』の登場。アンコールを含め全9曲、たっぴり歌って踊って楽しみました。「見上げてごらん夜の星を」では、ゆったりとした調べにあわせてフラダンスも披露。年々、バンドの皆さんとも息が合ってきて、とてもいい感じです。最後は参加者も混然一体となって「マツケンサンバ」で大盛り上がり。

ステキな音楽を聴き、のびやかに歌い、笑う。今年も心が解き放たれる時間で締めくくることができました。

ニューフェイス紹介

介護担当の仲間が
2人増えました！



10月からお世話になっている山口剛史です。8月に開かれた八幡市主催の福祉職場フェアに参加して、コスモス男山を知りました。お話を聞いて興味が湧き、すぐに職場見学。温かい雰囲気、ぜひここで働きたいと思いました。介護職の経験はありますが、初心に戻れるこの職場にもっと早く出会いたかったと思います。どうかよろしくお願いします。



はじめまして！10月からコスモス男山で働くことになりました、加藤清美です。未経験ですので周りの先輩方に教えていただきながら、日々勉強中です。利用者様の立場に立ち、皆様が安心して過ごしていただけるよう、また柔軟な対応ができるようにこれからも頑張っていきたいです。趣味は読書、トールペイント、掃除です。これからもよろしくお願いします。

編集後記

突然ですが皆さんは、大阪・関西万博に行きましたか？

多くの国が関わる万博では多種多様な催しがあり、様々な文化や価値観にふれることができました。「行ってみて今まで関係ないと思っていた国にも興味が出てきた」といった声もあり、この積み重ねが平和な世の中につながってほしいと願うばかりです。

私は実は、この万博で週数日働き、興味深い日々を過ごしました。イベントの仕事に入るのは初めてで、なにせ過酷な夏の外仕事。いろいろな大変なことや困ったこともありましたが、なんとか乗り切れたのは一緒に働く仲間とお互いに助け合って励まし合えたからだと感じています。

人間関係って、大切ななあ。

ここコスモス男山もとても人間関係がいい職場で、気持ちよく過ごしています！前回のカスハラ研修の記事作成の際も感じましたが、居心地いい対応には、居心地いい関係が大切です。利用者さんともそういう関係を作っていけるようにしたいと、あらためて思いました。(川)